

八幡で生まれて、八幡で育った四十五年

稲葉健二の

ひと言メッセージ

生まれ育った八幡町

私の生まれた町、八幡の地名は、皆様ご存知の葛飾八幡宮、八幡さまの「八幡」から由来しました。

そもそも、この葛飾八幡宮、ご創建は平安朝の昔、宇多天皇の勅願により下総国総鎮守としてご鎮座いたしました。

「葛飾」という地名はその昔、武蔵国と下総国の境が隅田川だった時代、隅田川より東、鎌ヶ谷あたりまでを下総国葛飾郡と呼んでいたようです。

その下総国葛飾郡に鎮座します「八幡さま」として葛飾八幡宮という名称がつけられたそうです。

その目と鼻の先、町会の名前も「門前自治会」と名づけられた町に生まれただけですから、ハナタシ小僧のころからの遊び場は、八幡さま。私が小さい頃は、あの天然記念物・樹齢千二百年といわれている千本銀杏の幹の中に入って遊べたんですよ。

「そんな中に入ったら背が伸びなくなるよ」なんて、大人たちに注意

創刊号

稲葉健二後援会
市川市八幡2-5-17
TEL 336-1785
FAX 302-3988

内部討議資料

されたのも、なんのその。とっても背高ノッポに育ちました。これも八幡さまのおかげかな？なんて考えたりもしています。子どもの頃の楽しみは、なんと言っても秋の「ボロ市」。射的に輪投げ、あんず飴、お祭りの少なかった私たちの子ども時代には、大変な一大イベントでした。そんな寂しい思いが、私の仲間たちで三十三年に一度しかない八幡さまの大神輿渡御をもっと頻繁に、って思いで始めたのが「やわたまつり」です。



昨年、平成一四年で六回目を数えた「やわたまつり」、第一回目からお手伝いさせていただいていますが、回を重ねるごとに盛大になり、私の担当の「子ども神輿」も、毎回子どもたちの担ぎ手が増えて、大盛況です。

子どもの頃の遊び場の話をしました、私たちが子どもの頃は、もっともっと空き地があって、思う存分遊べたような気がします。

八幡小VS富貴島小の草野球試合。人数が足らなくて三角ベースで勝負、なんてこともありました。今はそんな遊び場も少ないし、登下校の安全性だ、って疑わしい時代。イヤですよ。そんなところも変えていかなくちゃ、なんて私は思っています。

今の子どもたちが大きくなって、「自分の子どももこの街で育てたい」、そんな街づくりができれば素敵だなんて…

新しい市川に向けて、がんばります、提案します。

- ①子どもたちが安心して遊べる地域環境を整備
- ②“働くお母さん”子育て支援の強化
- ③子育てコミュニケーション&サポートプログラムの提案
- ④地域で子どもを育む活動への支援
- ⑤シルバーコミュニケーション&サポートプログラムの提案
- ⑥無理・無駄・ムラのない行政改革
- ⑦駐輪問題の解決に向けて対策協議会を設置

三中ブロックナーチャリングコミュニティ委員長
八幡小学校PTA相談役/門前子ども会育成会会長
/門前自治会役員/市川市第6区青少年相談員/
ICA(市川カルチャーアソシエーション)事務局長
/やわたまつり実行委員会委員/八幡街回遊展実行委員
会委員/市川商工会議所議員/八幡「いなば屋」経営
/(有)イナバエンタープライズ経営

稲葉健二 出陣式

日時 4月20日(日)
9:30~
場所 葛飾八幡宮
皆様の激励をお待ちしております

